

東部水産漁港部だより

宮城県東部地方振興事務所
水産漁港部「みやぎ水産の日」PR広報紙

7月号



(令和2年8月5日発行)

【お問合せ先】水産漁港部内 水産振興班, 漁業調整班

TEL:0225-95-7914, 1473

魚市場取材 ～石巻魚市場編～

今月のピックアップ「マアナゴ」

活魚では「マアナゴ」が旬を迎えています。取材日の7月28日(水)は628kgの水揚げと少なかったですが、ハモ胴漁業やカゴ漁業により水揚げされた石巻の「マアナゴ」は、釣り針を用いた漁法に比べて傷が少なく、味が落ちないことから、東京でも高値で取引されます。

中でもハモ胴漁業は、暗く狭いところを好む「マアナゴ」の習性を利用し、「ハモ胴」と呼ばれる細長い筒状の漁具を海底に沈める漁法で、例年6月から12月にかけて実施されており、旬の6月～8月に漁の最盛期を迎えます。しかし、現在は新型コロナウイルスの影響で東京の市場の動きが悪く、出漁日数を減らしている状況です。

「マアナゴ」はビタミンAをはじめ、栄養分も豊富に含まれています。皆様も是非、全国でも非常に高い評価を得ている石巻の「マアナゴ」を、この機会に召し上がってみてはいかがでしょうか。「マアナゴ」を食べて暑い夏を乗り切り、宮城県の水産産業を応援しましょう。



マアナゴ



大消費地へ運ばれます

冷凍カツオ, 258tの水揚げ

取材当日は、巻き網船による冷凍「カツオ」が258t水揚げされました。佐々木取締役社長の話では、「今年は小ぶりのものが多く、缶詰め等の加工向きである。本来であれば石巻で加工し、付加価値をつけて販売できるのが理想。今後は、加工業者の育成や企業の誘致にも力を入れていきたい。」とのことでした。

「カツオ」は3つのクレーンを使って次々と水揚げされ、ベルトコンベアで運ばれながらサイズが選別されます。選別された「カツオ」は大きなカゴに積み込まれ、超低温冷蔵庫に運ばれるそうです。この作業は朝7時頃に始まり、夕方16時頃まで続くそうです。



水揚げの様子



ベルトコンベアで運ばれます



重量で選別されます



選別されたカツオ

「タチウオ」の水揚げが非常に多くなっています

西日本を中心に高級魚として有名な「タチウオ」ですが、最近では石巻でも水揚げされています。取材日には、底曳・定置網合わせて7 t水揚げされており、これは昨年同時期のおよそ7倍となっています。やはり、温暖化が原因でしょうか。

佐々木取締役社長の話では、「今年は特にタチウオの水揚げが多く、平均単価は1 kgあたりおよそ500円～600円と高い。活魚をはじめ魚価が低迷している中、いい商材となっている。」とのことでした。

水揚げされた「タチウオ」は、氷詰めになされ、ほとんどが鮮魚出荷として東京や大阪などの大消費地に運ばれるとのことでした。

底曳・定置網では他に、「マサバ」が76 t、「マアジ」が13 t、「ブリ」が6.3 tなど水揚げされました。また、活魚・陸送品では旬の「マボヤ」や、「キタムラサキウニ」なども水揚げされました。



水揚げされたタチウオ



氷詰めされ運ばれます



キタムラサキウニ



マサバ



マボヤ



ホウボウ

「石巻地域の物産と観光展inあつかしの郷」が開催されました

新型コロナウイルス感染症の影響等により売上が減少している事業者を応援するとともに、地域の魅力ある水産物を広く認識してもらうため、この度地方振興部と連携して福島県にてPRイベントを実施しました。「あつかしの郷」は、東北自動車道の国見インターを降りて5分程度の国道4号線沿いにある道の駅で、名前は地域のシンボル「阿津賀志山（あつかしやま）」に由来しています。

イベントは7月11日から26日までの16日間開催され、石巻市、東松島市、女川町の水産加工品（カキ、ワカメ、ホヤ）等の販売及び観光PRが行われました。初日には、宮城県観光PRキャラクターのむすび丸を始め、関係市町のゆるキャラが駆けつけ、会場を盛り上げました。内陸ということもあってか、特設ブースを訪れたお客さんは、数日ごとに入れ替わる水産加工品を次々に買い求め、また石巻地域のご当地グルメに舌鼓を打っていました。今後も継続的な交流を行いながらPRをしていきたいと思ひます。



オープニングセレモニー



販売の様子



観光PRコーナー

『みやぎ水産の日』販売会 in 宮城県石巻合同庁舎

新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年3月より開催を見合わせていた『みやぎ水産の日』販売会について、感染拡大予防策を講じて令和2年6月、4か月ぶりに再開しました。

6月の販売会は6月26日（金）午前10時から行われ、渡波水産加工業協同組合様、一般社団法人カイトク様のご協力により、『詰合せセット3種類』が販売されました。当日は雨となりましたが、多くの方々のご来場をいただきました。

7月の販売会は7月22日（水）午前10時から行われ、宮城県漁業協同組合谷川支所青年部様の『殻つき生ホヤ』と、いしのまき元気いちば様の『お買い得セット（A）、（B）、（C）』が販売されました。こちらの販売会も五月晴れということもあり、地域の多くの方々が訪れ大変賑わいました。

令和2年8月7日（金）には、「ホヤ祭り2020」が開催される予定です。こちらのイベントには宮城県漁業協同組合谷川支所青年部様とマルキ遠藤株式会社様に出店していただく予定です。皆様のご来庁を心よりお待ちしております。

6月販売会の様子



販売会では、冷凍詰合せAセットが大好評で2時間で売切れとなり、乾物や加工品・缶詰が中心のB、Cセットも好評で予定数量を販売しました。

また、石巻合同庁舎1階食堂で『みやぎ水産の日』企画として「白身魚のフライとイワシのみれ汁定食」が提供され、こちらも多くの方に食べていただきました。

7月販売会の様子



宮城県漁業協同組合谷川支所青年部様の『殻つき生ホヤ(発泡箱水詰め)』は、青年部の方々が朝水揚げした新鮮な『ホヤ』ということもあり開始前より多くの方が並ばれました。

いしのまき元気いちば様の『お買い得セット(各種)』はBセット(冷凍品)が好評でした。

6月に続き石巻合同庁舎1階食堂で『みやぎ水産の日』企画として提供した「宮城県産アナゴのちらし定食」は予定数を超える売れ行きとなりました。



編集後記

新型コロナウイルスの影響で今年度4月及び5月の開催を中止していた『みやぎ水産の日』について、6月から久しぶりに開催するにあたり、これまでのようにお客様に来ていただけるか不安がありました。こちらの予想を大きく上回る多くの方々に来ていただいたことに感謝しております。

今後も新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、みやぎの水産物の販売支援をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。